

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27 年 5 月 29 日

計画の名称	神奈川県狭あい道路整備計画																			
計画の期間	平成22年度 ~ 平成25年度 (4年間)	交付対象	神奈川県及び横浜市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、開成町、箱根町、神奈川県内の24市町																	
計画の目標	密集市街地においては、火災の延焼が危惧され、また、建築確認・不動産取引等の建築活動を円滑にするために狭あい道路の解消を推進することが重要である。そのため、狭あい道路の調査・測量、それに係るデータベースの構築、運営又は公開(ソフト事業)及び狭あい道路の拡幅整備(ハード事業)の市町村の計画的取組みを推進していく。																			
計画の成果目標(定量的指標)	神奈川県内の24市町(別紙図面)全域で狭隘道路の拡幅整備を行う。																			
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H25末)</th> </tr> <tr> <td>平成22年度においては、政令市(横浜市、相模原市)を含めた神奈川県内24市町、平成24年度から平成25年度においては、23市町の狭あい道路のうちおよそ91.7kmの狭あい道路の拡幅整備を行う。</td> <td>0km (目標延長)</td> <td>-</td> <td>91.7km (目標延長)</td> <td></td> </tr> </table>								定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)	平成22年度においては、政令市(横浜市、相模原市)を含めた神奈川県内24市町、平成24年度から平成25年度においては、23市町の狭あい道路のうちおよそ91.7kmの狭あい道路の拡幅整備を行う。	0km (目標延長)	-	91.7km (目標延長)	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H25末)																	
平成22年度においては、政令市(横浜市、相模原市)を含めた神奈川県内24市町、平成24年度から平成25年度においては、23市町の狭あい道路のうちおよそ91.7kmの狭あい道路の拡幅整備を行う。	0km (目標延長)	-	91.7km (目標延長)																	
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,129.43百万円	A	3,129.43百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%										

事後評価(中間評価)

事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	神奈川県において事後評価を実施		事後評価(中間評価)の実施時期	平成27年4月
事後評価(中間評価)の実施体制			公表の方法	神奈川県ホームページに公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A. 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25		
A-0	住宅	一般	神奈川県	直接	県	狭あい道路整備等促進事業	指定道路図・指定道路調書の作成・県所管区域					31.69	
A-1	住宅	一般	横浜市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					187.71	
A-2	住宅	一般	相模原市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					85.83	
A-3	住宅	一般	横須賀市	間接	民間	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					58.05	
A-4	住宅	一般	平塚市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等及び指定道路調書の作成・市内全域					476.95	
A-5	住宅	一般	鎌倉市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					62.59	
A-6	住宅	一般	藤沢市	直接	市	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					157.92	
A-7	住宅	一般	小田原市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					391.74	
A-8	住宅	一般	茅ヶ崎市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等及び指定道路調書の作成・市内全域					606.35	
A-9	住宅	一般	逗子市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					30.02	
A-10	住宅	一般	秦野市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					176.00	
A-11	住宅	一般	厚木市	直接	市	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					235.51	
A-12	住宅	一般	大和市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					22.08	
A-13	住宅	一般	伊勢原市	直接	市	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					77.10	
A-14	住宅	一般	海老名市	直接	市	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					69.39	
A-15	住宅	一般	座間市	直接	市	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					12.60	
A-16	住宅	一般	綾瀬市	直/間	市/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・市内全域					106.50	
A-17	住宅	一般	寒川町	直/間	町/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域					28.39	
A-18	住宅	一般	大磯町	直接	町	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域					75.05	
A-19	住宅	一般	二宮町	直接	町	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域					89.90	
A-20	住宅	一般	中井町	直/間	町/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域					11.54	
A-21	住宅	一般	大井町	直接	町	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域					4.43	
A-22	住宅	一般	松田町	直/間	町/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域					11.31	
A-23	住宅	一般	開成町	直接	町	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内の3路線					77.53	
A-24	住宅	一般	箱根町	直/間	町/個人	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域					5.05	
A-25	住宅	一般	愛川町	直接	町	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路の拡幅等・町内全域					38.21	
合計											3,129.43		

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
1-B1																	
1-B2																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
1-C-1																	
1-C-2																	
交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。																	
<b>2．事業効果の発現状況、目標値の達成状況</b>																	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況						<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭あい道路拡幅整備の結果、日常の交通及び災害時の消防・救急活動の円滑化により、快適性及び安全性が向上した。</li> <li>・緊急車両等が通行できる路線が増加した。</li> <li>・狭あい道路後退用地の買収を期に拡幅工事を検討することができた。</li> <li>・道路の拡幅に伴い、道路通行上の安全性、利便性の向上に繋がった。</li> </ul>											
定量的指標の達成状況				指標		最終目標値	91.7km	目標値と実績値 に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭あい道路後退申請件数減少のため。</li> <li>・申請ごとの延長にばらつきがあるため。</li> <li>・建築確認に伴う事業件数が当初見込みより若干少なかったため。</li> <li>・用地交渉難航により工事等の進捗が遅れたため。</li> </ul>								
						最終実績値	80.5km										
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況						<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭あい道路拡幅整備に対して市民や業者の意識が高まった。</li> <li>・用地買収及び物件補償費を補助的に支出することで、建築時に狭あい協議申請促進に貢献している。</li> <li>・周辺地域の交通の利便性及び安全性が向上した。</li> </ul>											
<b>3．特記事項（今後の方針等）</b>																	
平成26年度以降も継続して当該計画を実施し、日常の交通や災害時の消防・救急活動、建築確認・不動産取引等の建築活動の円滑化のためにも狭あい道路の解消を推進していく。																	

